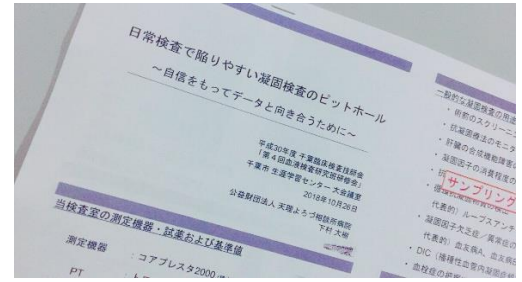


日時: 10月 26日 (金), 19:00 ~ 20:30
 場所: 千葉市生涯学習センター 大会議室

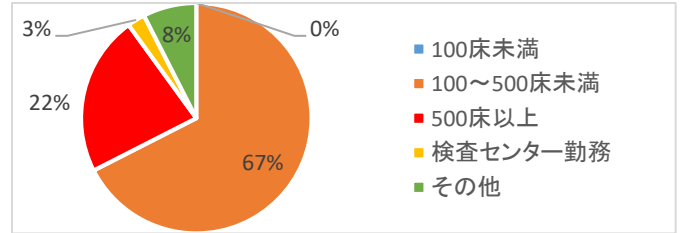
特別講演
 『日常検査で陥りやすい凝固検査のピットホール
 ~自信をもってデータと向き合うために~』
 天理よろづ相談所病院 臨床検査部 下村 大樹 技師



アンケート結果 (回答43件)

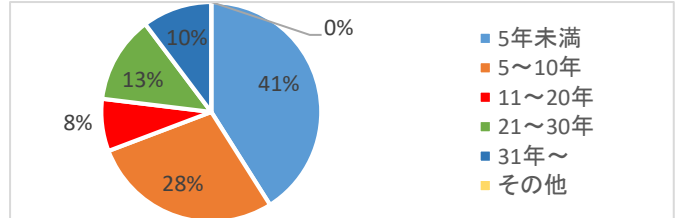
1. あなたの勤務先の病床規模はいくつですか？

100床未満	0
100~500床未満	27
500床以上	9
検査センター勤務	1
その他	3



2. あなたの血液検査経験年数は何年ですか？

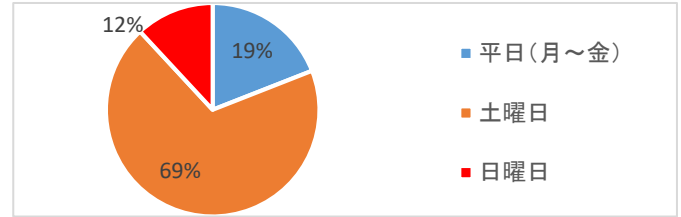
5年未満	16
5~10年	11
11~20年	3
21~30年	5
31年~	4
その他	0



3. 研修会開催について、ご希望の曜日または時間はありますか？

平日(月~金)	8
土曜日	29
日曜日	5

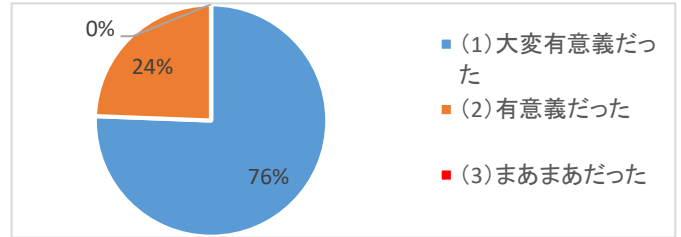
・土日 14時(1) ・土 15時(1) ・土日午後(1)
 ・平日 19時(1) ・土 13~14時(1)



4. 今回の血液研修会についてどのような印象をお持ちですか？

(1) 大変有意義だった	31
(2) 有意義だった	10
(3) まあまあだった	0
(4) もの足りない	0
(5) 非常に不満足	0

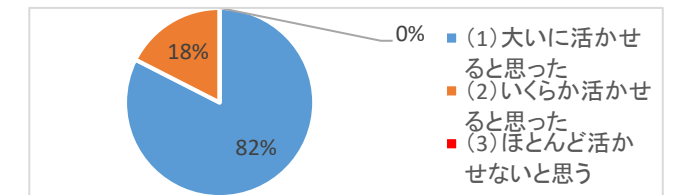
- ・大変理解しやすかったです
- ・日常検査において、非常に役に立つ知識等を学べたので大変有意義でした。
- ・凝固は難しいイメージがあったのですが、とても分かりやすく勉強になりました。
- ・少し不安を抱えて報告することもあった凝固検査ですが『そういう事か！』と疑問が納得に変わりました。
- ・ルーチンに活かせると思うので
- ・とてもためになりましたありがとうございました。今日頂いたテキストを大切にします。
- ・いろいろなデータがまとめられていてわかりやすいです
- ・当院では凝固検査は外注しているので返ってきたデータでみています。
- ・日常検査に密着しており具体的なことがわかりやすく説明されていてわかりやすかったです。
- ・明日から使える内容がたくさんでした。
- ・とにかくわかりやすかったです。今まで聞いた凝固の講演のなかでNo1でした。
- ・苦手な凝固ですが、大変分かりやすかったです。



5. 研修内容は今後の職務に活かせると感じましたか？

(1) 大いに活かせると思った	33
(2) いくらか活かせると思った	7
(3) ほとんど活かさないと思う	0

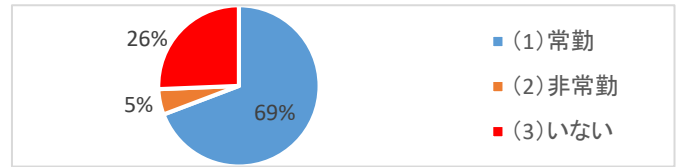
- ・参考にさせて頂きたいことがたくさんでした。非常に良いご講演でした。ありがとうございました。
- ・難しい凝固検査についてわかりやすく説明して頂いて、とても勉強になりました。
- ・凝固検査についてはデータが正しいのか不安が多かったので、勉強になりました。
- ・結果を解釈するうえで、薬剤の影響や検体の不備などもよく考えたいと思った。
- ・竹串はやってみようと思います。
- ・当直時にしか凝固検査を担当しないため、特に苦手な検査でした。よほどおかしなデータ以外は再検をして、そのまま結果を送っていたこともあり、今日教えていただいたことをして今後当直に少しでも自信をもってデータを送りたいと思います。



- ・薬剤についてとても詳しく教えていただき、今まで、『何となく〜な気がする』で済ませていた延長の理由などがわかり、もやもやが晴れた感じがしました。
- ・影響のある薬剤がまとめられていてわかりやすいです。
- ・生化学データ血小板データを活かして今回聞いたことをかさねて検討できる。
- ・一つでも職場のシステムに組み込みたいと思いました。
- ・実習生、新人さん、職場のみんなで共有したいです。

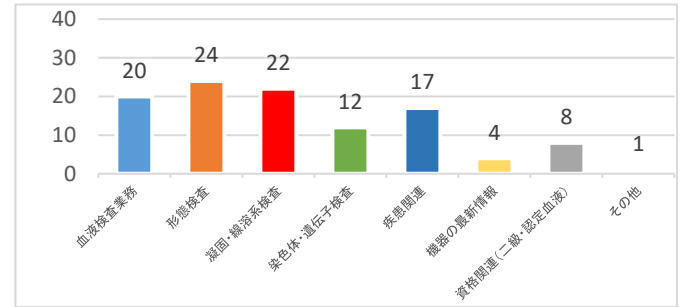
6. ご施設に血液内科を専門とされている医師は勤務されておりますか？

(1)常勤	27
(2)非常勤	2
(3)いない	10



7. 今後の血液研修会の内容について、一番関心の高いものはなんですか？(複数回答可)

血液検査業務	20
形態検査	24
凝固・線溶系検査	22
染色体・遺伝子検査	12
疾患関連	17
機器の最新情報	4
資格関連(二級・認定血液)	8
その他	1



・FCM(1)

8. 今後、希望する研修会テーマやなにか日常業務でお困りなことはございますか？

【希望テーマ】

- ・悪性リンパ腫の形態検査について
- ・体腔液の形態
- ・凝固、血液算定、Drがどうデータを求めているか？
他項目と関連してどの辺を見たらよいか？(疾患別に)
- ・血液疾患ごとの各データの見方
- ・採血管による血小板数の相違について
- ・偽性血小板をおこす疾患や内服薬について
- ・自動血球測定装置での血小板の乖離について
- ・RCPCグループを組んでカンファレンス形式
- ・日常検査で起こりやすい血算バージョン！

【日常業務で困っていること】

- ・ヘパリン投与されているカテ後の検体でAPTTが非常に延長しているときは採血(検体採取)は、やり直したほうが良いのでしょうか？
- ・遠心後の検体と放置後再測定(再検)したら、少し、APTTが短縮していることがあるのですが項目追加は何時間後までOKとされていますか？
- ・体腔液の形態
- ・先生からの問い合わせが一番困る(あまり難しことを凝固検査に関しては質問されてもよくわからないので)
- ・骨髓標本の鏡検(各細胞の異形成のとらえ方や、異常細胞の見つけ方)
- ・現在自動血球測定装置で低値となった場合外注に出している。今後塗抹標本をつくり血小板凝固の有無を確認できるように検討している。
- ・凝固検査で困ったことが起こったら、下村さんにメールしていいですか？

9. 血液検査研究班になにかご意見はありますか？

- ・非常に勉強になりました。
- ・いつも勉強になる会をありがとうございます
- ・プランクがある技師にとって検査方法が変わったりするので、今現在の最新の方法を紹介してほしい。
- ・平日夕方の研修会はwebがいい。
- ・平日は最大1時間30分くらいのほうがいい。21時は長いかもしれない。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございます。

